

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和6年2月号 No.201

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和6年新年名刺交換会開催

令和6年1月6日(土)午後5時から名古屋市東区のホテルメルパーク名古屋「瑞雲の間」において、名古屋木材組合、中日本合板工業組合、日本合板商業組合中部日本支部、名古屋建材商社会の木材、建材関係4団体共催により新年名刺交換会が、来賓、組合員関係者等400名余が参加して盛大に開催された。

最初に主催者挨拶で名古屋木材組合 西垣洋一組合長は元旦に発生した能登半島地震について、被災者にお見舞いを述べ、かつて読んだ「方丈記」に触れ、「時代は大きな変革の潮目を迎えている。今年は物価と賃金の向上による好循環を期待したい。2024年問題による働き方改革を見通し、我が業界も生産性向上と人材育成が急務で転換の年だ」と呼びかけた。



西垣洋一 組合長



大村秀章 愛知県知事

つづいて、主催者挨拶として名古屋建材商社会 関野博司伊藤忠建材(株)代表取締役社長から「先行き不透明という予測が多い今年だが、かつて多くの時代がそうであり、木材業界はそれを乗り越えてきた」と述べた。

また、今年は大村秀章愛知県知事が出席し、「木材産業の発展は社会に貢献する」と業界への期待を述べた。

引き続き、日本合板商業組合中日本支部 夏目基幹支部長が乾杯の音頭を行い祝宴に移った。会場では新年の挨拶と今年も頑張っていくという意気に溢れ盛況であった。

最後に中締めとして、日本合板工業組合 内藤和行理事長が業界のますますの発展と参加者の皆様の健勝を祈念して一丁締めで会を終了した。

尚、当日会場にてお願いしました「緑の募金」は総額72,607円集まり、(公社)愛知県緑化推進委員会に届けました。皆様のご協力ありがとうございました。



上村さや香さん
2023ミス日本みどりの大使

関野博司 伊藤忠建材(株)代表取締役社長

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

名古屋港西部地区の諸問題の解決のために名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会と飛島村、名古屋港管理組合等及び弥富市が懇談会を開催

名古屋港造船団地、西二区鉄鋼関連企業協議会、名古屋港埠頭上屋組合西部部会、名古屋港運協会木材部会、名古屋港木材産業協同組合などで構成する名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会（会長：服部伸一木産協理事長）は、令和5年12月7日に、名古屋港西部臨海地帯における諸問題について飛島村臨海地区協議会（飛島村、名古屋港管理組合、蟹江警察署、名古屋国道事務所などで構成）、また令和5年11月13日に弥富市と懇談しました。

飛島村への要望

● 名二環を利用して名古屋駅から西部臨海地帯とを結ぶ飛島バスの運行を検討してください（継続）。

（回答）

既存の飛島公共バスのダイヤ改正で利便性を高めるだけでなく、名古屋駅等から直通バスの運行についても検討に含め、アンケートを実施する予定です。

● 流通センター第2計量所の東側道路の水捌けがとても悪い。引き続き清掃をお願いします。

（回答）

令和5年度に排水管の清掃をします。清掃後の水捌けを確認し、引き続き道路排水機能の向上に努めてまいります。

蟹江警察署への要望

● 国道302号線の飛島村木場中央交差点に右折レーンを設けてください。

（回答）

道路改良が必要な場合もあり、道路管理者と連携して対応します。

（名古屋国道事務所）

現在のところ右折レーンを設置する予定はありません。ご要望は上部機関にお伝えします。

● 木材港エリアに夜間パトロールのような警備車を巡回させていただき臨海部の安全に務めてほしい。不法投棄等を防ぐため住民エリアのみならず臨海部への設置もお願いしたい。

（回答）

ドリフト族対策を始め常務を通じた取締り、警戒活動を等を行っています。

飛島村役場加藤総務部長より、「今年度中に臨海部に役場として6基の防犯カメラを設置する予定です。設置場所等についても相談してやっていきたいと考えている」とのお話をいただきました。

名古屋港管理組合への要望

● 名古屋木材㈱の北側道路の側溝の排水柵が詰まっております。貫通作業をお願いします。

（回答）

現地で冠水状況を確認しました。その原因と考えられる取り付け管のつまりの除去について検討します。

● 街路樹の伐採・剪定と歩道の補修をしてください。

（回答）

安全性を確保するため、定期的に街路樹の剪定を実施しております。街路樹の根上りについても現地を確認し、必要に応じて適切な対策を検討いたします。

● フジトランスコーポレーションの西側外周と管理組合所有の緑地帯が隣接しているが、会社敷地内へ草

木の侵入があるので、定期的に伐採作業を行ってほしい。

（回答）

除草については定期的に行っていますが、やむを得ず生育に追いつかない時期もあります。草木が御社敷地に越境していて支障をきたす場合は、必要に応じて適切に対応していきます。なお、樹木の剪定、雑草の除草等の要望につきましては、今後飛島村との懇談会に提出せず、直接名古屋港管理組合港湾管理事務所にご連絡してください。



飛島臨海地区協議会の皆さんと企業連の懇談会

名古屋港管理組合港湾管理事務所 業務第一係
TEL 052-398-0509

弥富市への要望

● 夜間安全パトロールのような警備車を巡回させていただき、臨海部の安全に務めて不法投棄を防ぐため防犯カメラ等を住民エリアのみならず臨海部への設置をお願いします。

（回答）

夜間パトロールにつきましては、住民が主体となった自主防犯団体が青色回転灯を点滅させて地域を巡回してもらっている地区があります。それらの団体に対しガソリン代を2万円/1台を補助させていただいております。

協議会で趣旨をご理解いただき事業を行っていた場合にはガソリン代を補助させていただくことができます。防犯カメラの設置につきましては、住民エリアの場合が半額補助（50万円上限）させていただく形式となっておりますので、協議会で同じ形で行っていただければ設置していくことも可能と考えます。

● 災害時避難場所について、最寄りの日光川下流浄化センターまでかなり遠い（徒歩1時間）ので、弥富ふ頭内に検討いただきたい。

（回答）

名古屋港西部臨海地域があります弥富ふ頭は、標高が2m～5mを超える地域でございます。このため理論上は最大想定規模の地震が発生しても津波浸水を受けない地域であることから「津波災害警戒区域」に入っておらず、浸水の危険性は低い地域であります。

しかし想定以上の未曾有の災害が発生しないとも限らないので、津波から命を守るための「緊急時避難場所」については、先ず貴協議会の中で、地区内の関係企業間でご協議していただき、既存建物を利用した「垂直避難」をご検討していただきますようお願いいたします。本市においても避難場所、緊急避難場所の増加を図るために、民間施設等を利用して災害協定の締結を適宜進めております。栄南学区において、最近新たに避難所として「八穂クリーンセンター」、緊急時避難場所として「大和ハウス工業㈱」を追加指定しております。

詳細については企業連事務局にお問い合わせください。

◆ 合縁木縁 ◆

「食虫植物の不思議な世界」

「食虫植物」と聞いて、皆さんはどのようなイメージを持っていますか？虫を食べる植物、ゲームのキャラクターや夏の植物といったイメージでしょうか…。

一昨年私は、園芸店で販売されていた「ハエトリグサ」という食虫植物の品種を買った所から同植物の魅力にはまり始めました。独特な色、独特な形、独特な生態これらの要素が自分の子供心をくすぐり、今では様々な品種を集めるようになりました。

その中でも「ハエトリグサ」「ウツボカズラ」は、初めて栽培する人でも育てやすいので、簡単に紹介していきたいと思います。

【ハエトリグサ】

一番有名な食虫植物の品種で、同品種は北アメリカ原産で暑さに強いことから、日本の園芸店では夏の期間限定で販売されることが多いです。通常は2枚の葉を広げており、葉の中央部分に透明色の針が数本あります。虫が透明色の針に触れると自然に葉が閉まり、虫の逃げ場を遮り、やがて48時間かけて虫の栄養分を吸い取ります。しかし動く際に運動エネルギーを使うことから、ハエトリグサは一生で3回しか動くことが出来ません。栄養補給の為に捕獲活動が同時に同生命のタイムリミットという残酷な植物です。

【ウツボカズラ】

全世界に240種類以上の原種があり、現在でも愛好家の中で品種のハイブリッドが盛んに行われています。園芸店で販売されている品種は暑さ・寒さに強く、ハイブリッドされたものです。葉先に靴状の罠があり、無臭なのだが虫が寄り付き、靴の中に溜まった雨水に虫が落ちると腐敗が始まります。また、同品種の魅力はウツボを綺麗な色、綺麗な形に育てるのが難しいことです。中にはネズミなどの小動物を栄養にする品種もあり、未だに発見されていない品種がたくさんあるのも魅力です。私は高山性ネペンテスを水槽で湿度・温度を管理しながら生育しています。非常に高価なモノもあり一株一万～数百万円するモノまであり、希少度によって値段や市場相場が違うため、希少度の高い品種がうまく育ったときなどは特にやりがいを感じます。

以上、非常に不思議な植物の紹介でした。

今回は、エイチアンドティーフォレスト株式会社 西土 林太郎氏にお願いします。

木場すずめ

「材惣ファーム」

弊社はSDGs活動の一環として食堂で発生する食品ロスの削減対策を行っています。食品ロスには、調理上やむなく発生する野菜の剥いた皮、卵の殻等もあれば、毎日の食堂利用人数（注文数）をチーム毎に毎朝報告をもらい、人数分の食事を準備するのですが、急な外出等が発生して利用出来なくなったことにより発生する食品ロスもあります。

最近の注文数に対する食堂利用率は約99%となっており、注文された方のほとんどが食べに来て頂いています。それでも実際に発生する毎月の食品ロスは5～6kg出ているのですが、食堂運営会社からは他の企業の社員食堂と比較すると、弊社規模では食品ロスの発生量は極めて少ない方だと言われてました。確かに活動当初は月50kg以上の食品ロスが発生していたのですが、当時に比べれば1/10程度まで減らすことは出来ています。

しかし、それでも私は毎月5～6kgの食品ロスがどうしても気になり、食堂運営会社にいろいろアイデアを出してもっと減らすように依頼をしているのですが、私の素人アイデアは食品衛生法に抵触するようで、ここからの削減が停滞しているのが現状です。

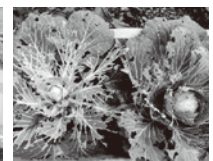
このくらいが今は限界かと思い、考え方を変えてみることにしてSDGs委員会で議題に挙げ、生ごみを堆肥化して再利用を考えてみよう、構内で無農薬の作物を育ててみようといった意見が出ました。この考えを弊社役員会に報告し、生ごみ処理機を購入して1日平均250～300g発生する生ごみを投入し、堆肥化してみました。投入の仕方にもいろいろ工夫があるのですが、なるべく水分を切って、日々投入する生ごみの量を調整し、発酵ペースを安定させています。本業で発生する木材の端材を利用したプランターの作成はお手の物なので10基作成し、弊社から出るおが粉を利用した発酵堆肥と生ごみ処理機で作成した堆肥を利用して作物を育てる「材惣ファーム」が生まれました。今回植えてみたのは、キャベツ、枝豆、シソ、キュウリ、ナス、ミニトマト、かぼちゃ、バジル、トウモロコシ等上手くいったものもあれば大失敗に終わったものもあります。今は冬野菜に取り組んでいます。作物を育てる知識が乏しいので、これからもっと勉強しながら続けていきます。



トウモロコシ



キュウリ



キャベツ

お知らせ

令和5年11月末に西部臨海地区の飛島ふ頭、木場金岡ふ頭、弥富ふ頭それぞれ秋季一斉清掃を実施いたしました。一斉清掃につきまして、多くの企業の方にご参加いただき、また、臨海地区の環境美化にご協力いただきありがとうございました。

名古屋港管理組合港湾管理事務所



- 令和5年11月22日 飛島地区（飛島ふ頭西部第二貯木場東側）
混合ごみ…6m³ 土砂…0m³
- 令和5年11月27日 木場金岡地区（木場金岡ふ頭トヨタ自動車物流センター東側）
混合ごみ…2m³ 土砂…54m³
- 令和5年11月29日 弥富地区（弥富ふ頭楠1丁目交差点北側付近）
混合ごみ…14m³ 土砂…1m³

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

ナンバープレートの盗難に注意！

蟹江警察署管内では、今年に入り自動車のナンバープレートの盗難が多発しています。被害に遭わないためにも、車にはナンバープレート盗難防止ネジを取り付けましょう。現在蟹江警察署では、管内(弥富市、蟹江町、飛島村)の住民の方だけでなく、管内で勤務する方も対象に、ナンバープレート盗難防止ネジを無料配布するキャンペーンを実施中です。

詳しくは 平日午前9時から午後5時30分の間に 蟹江警察署生活安全係 TEL0567-95-0110 にお問い合わせください。なお在庫がなくなり次第キャンペーンを終了させていただきます。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

Technology for Clean Air & Bulk Handling

INOUE

集塵装置の省電力・安全
木質バイオマスの利活用

ご提案します!!

快適な環境づくりに取り組む
井上電設株式会社 〒460-0022 名古屋市中区金山4丁目3-17

052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

世界初！
100%リサイクルせっこうボード

チヨダサーキュラーせっこうボード
CHIYODA CIRCULAR BOARD

廃せっこうボードから作られたリサイクル石膏を100%使用し、製造時のカーボンニュートラルを実現しました。

廃せっこうボードを100%原料に使用
製造時のカーボンニュートラル
従来製品と同じ高い耐火性能

CHUYODA VISION ZERO 共に積み、明日を創る。
チヨダサー

発行 名古屋木材組合
発行者 西垣洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 服部伸一
〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会